緊急安全対策等の報告書における誤りの有無の調査方法比較表

添付資料2

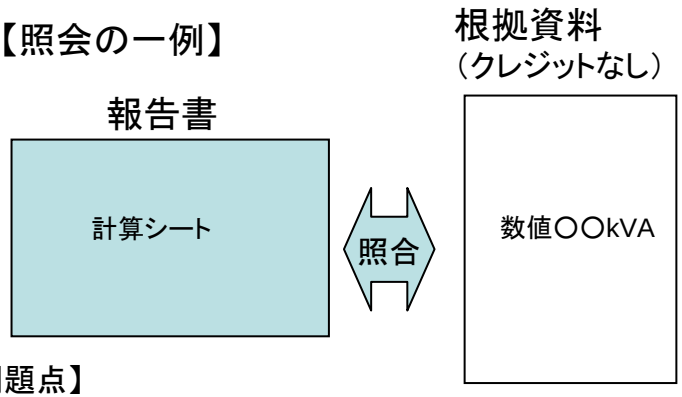
調査の方法

前回（9月21日報告）

〔1次チェック（作成担当グループ）〕

○報告書と評価の根拠となった資料との照合を実施。

【照会の一例】



【問題点】
照合の一部に、日付やクレジットのないメーカ資料との照合しているケースがあった。また、算出根拠も明記していない。

〔2次チェック（取りまとめ担当グループ）〕

照合が問題なく実施されていることを確認。

【問題点】
照合が問題なく実施されているかを確認するのみで、根拠資料の出典が明確になっているか確認していない。

〔第3者チェック（品質保証グループ）〕

チェックの実施プロセスの適切性を抜き取りで確認。

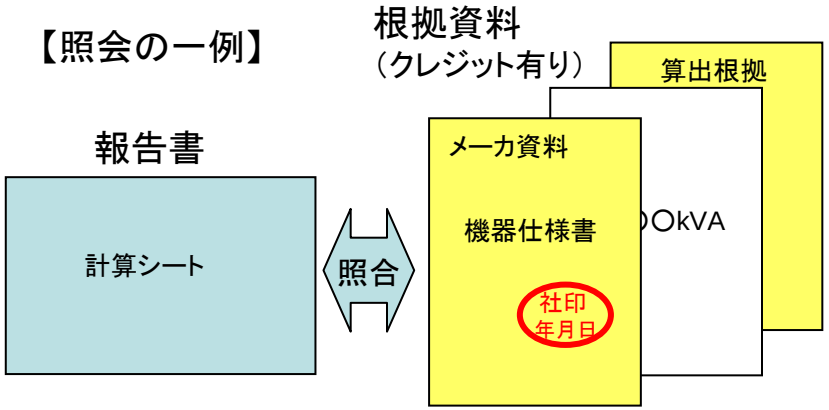
【問題点】
根拠資料の適切性にまで踏み込んだ確認ができていない。

今回（再調査）

〔1次チェック（作成担当グループ）〕

○報告書と評価の根拠となった資料との照合を実施。
根拠資料については、出典の明記された信頼性のあるものであることを確認。

【照会の一例】



〔2次チェック（取りまとめ担当グループ）〕

照合が問題なく実施されていることを確認。
加えて、全ての根拠資料について、出典が明確になっているかなど、根拠資料としての信頼性について確認。

〔第3者チェック（品質保証グループ）〕

チェックの実施プロセスの適切性を抜き取りで確認。
加えて、全ての根拠資料について、出典が明確になっているかなど、根拠資料としての信頼性について確認。